



令和4年度
秋田大学教育文化学部附属小学校
公開研究協議会（オンライン）

令和4年6月10日（金）

研究主題

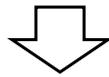
自律した学習者を育てるⅡ

研究副題

子どもと教師でつくる
「学びのものさし」（1年次）

自律した学習者とは

- 自分自身の学びを**省察**
- 自ら設定した目標に向け必要な**学習内容や方法を決定**



学び続ける学習者

3

自律した学習者の具体

- 「何を（**学習内容**）」
「どのように学び（**学習方法**）」
「どう活かすのか（**学習の目的**）」を自覚
- 自らの**学習状況に応じて**,効果的に学習を進める



学び続ける学習者

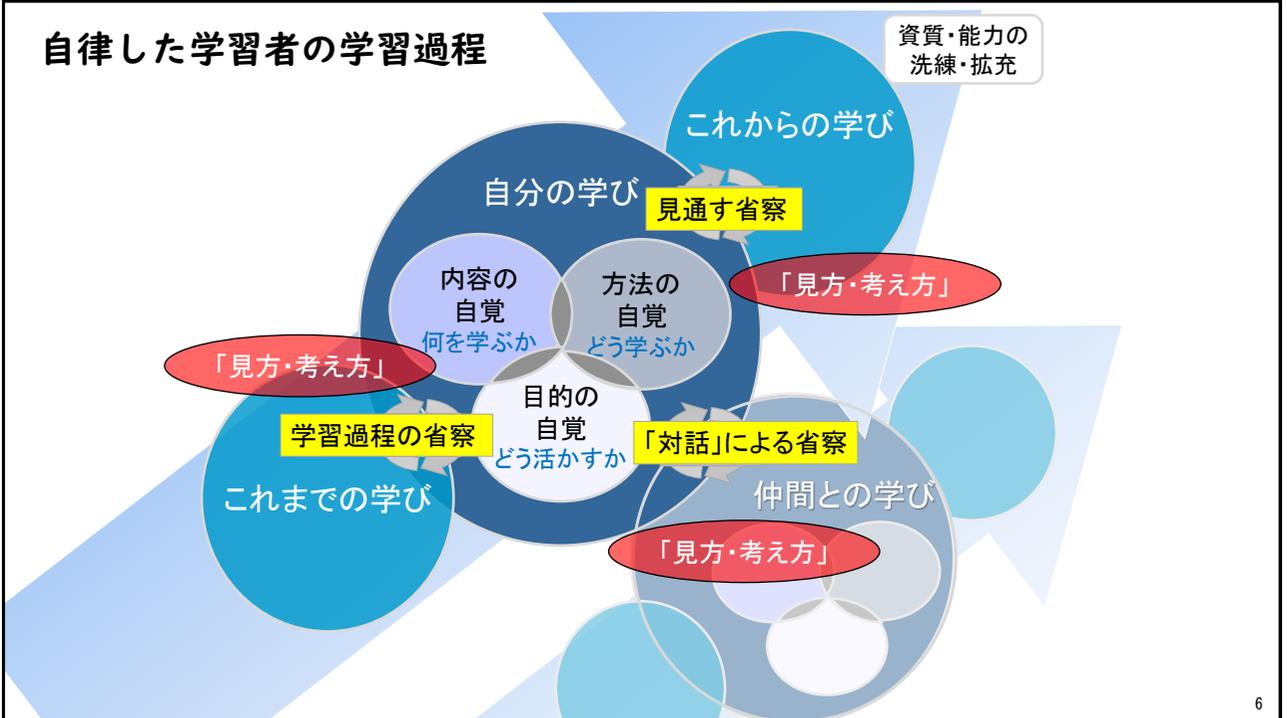
4

自律した学習者に必要な力

- ① 自らの現状を正しく分析し **目標を設定する力**
- ② 多様な学習方法を身に付け、状況に応じて適切なものを **選択し**、用いる力
- ③ 目標に照らして達成状況を **吟味し**、
学習方法をよりよいものへと **修正していく力**

5

自律した学習者の学習過程



6

前研究（平成30年度～令和3年度）

自律した学習者を育てる

-学びをつなぎ資質・能力を高める-

7

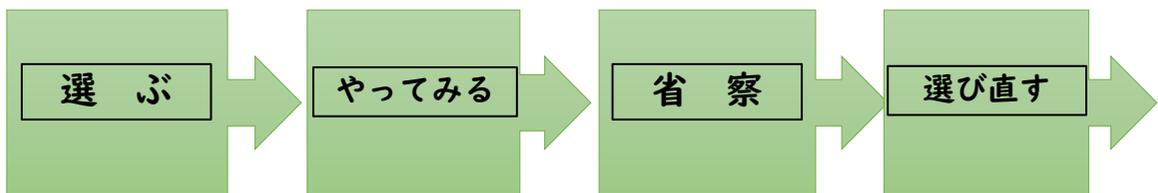
前研究の成果

- ①各教科等における
「『自律した学習者』を育てる
学習のプロセス」の明確化

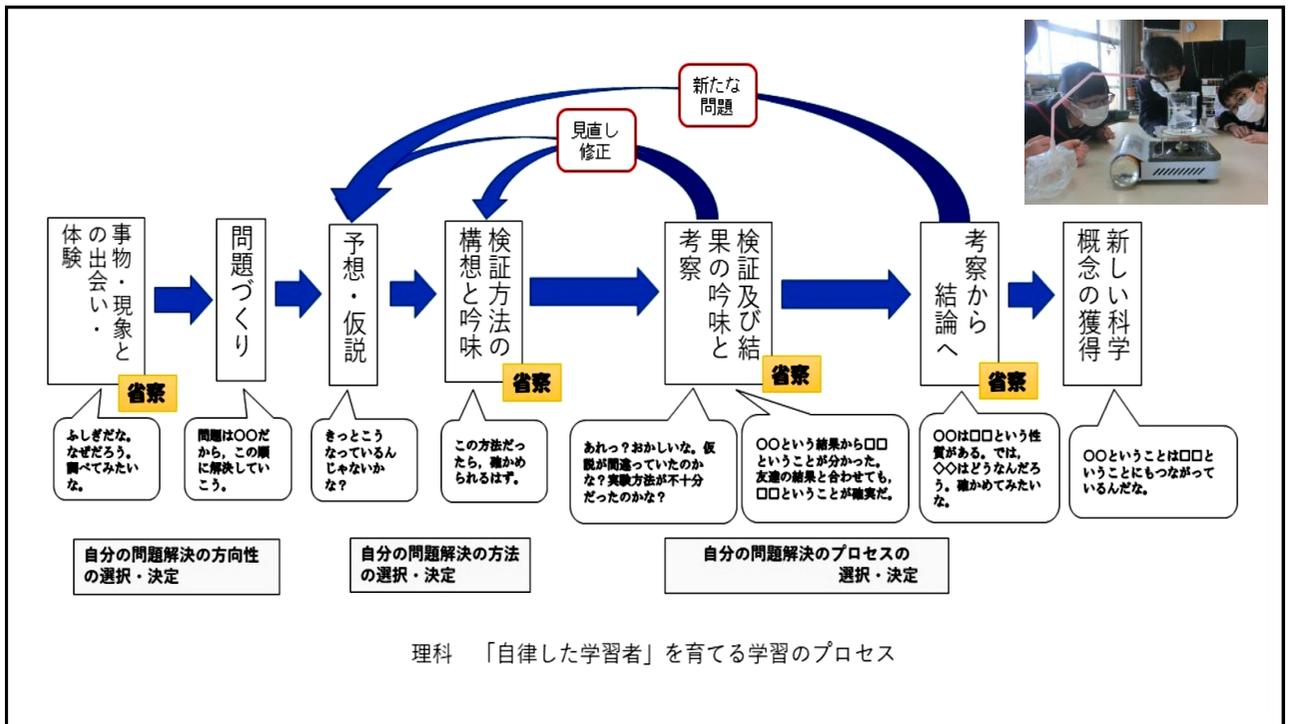
8

前研究の成果

①各教科等における 「『自律した学習者』を育てる 学習のプロセス」の明確化



9

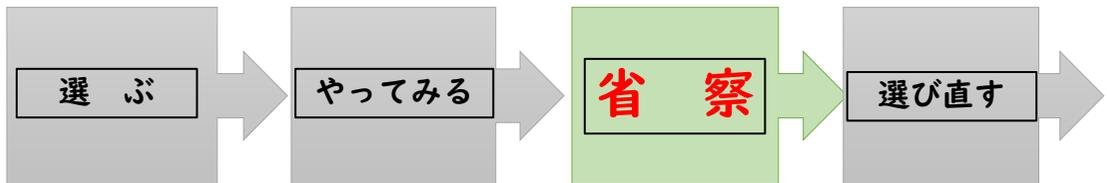


前研究の成果

② 選択・決定と協働の省察の 往還による学びの深まり



11



協働的な省察

- ・ 困り事の相談
- ・ 比較・検討，吟味
- ・ 練り上げる

個の省察

- ・ 自分の学びを再構築

12

目指している
ゴールに近づくために
あと何が
必要なんだろう？

つまりここまでの
話し合いから見えた
新たな考えは？

この時間に見つけた
よりよい考えは
どれだろう？



13

前研究の課題

○子ども自身が学びの
到達度や達成度を
見定めることができる力を
高めるための手立て

14

研究主題

自律した学習者を育てるⅡ

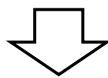
研究副題

子どもと教師でつくる
「学びのものさし」 (1年次)

15

学びのものさしとは

学習者が自らの学びの到達度や
達成度を判断する規準

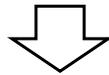


これからの学びの方向性を
見いだすための指針

16

学びのもののさしとは

学習者が自らの学びを
深めていくために働かせるもの



自ら学び進めるための指針

17

学びのもののさしとは

はじめから、はっきりしているものではなく、
不明瞭で曖昧なもの



具体化・焦点化することで
自己評価の規準に

18

子どもが使える「学びのものさし」

令和3年度 第4学年 総合的な学習の時間

「きらり みんなの笑顔があふれるまちⅡ

～みんなが笑顔になるために よりよい関わり合いを求めて～

わかば学級の仲間と違いを超えて
共に楽しむためには、**相手をよく知り、
一人一人が選ぶ機会をもつことが大切。**



自分たちが考えたゲームの中には、
選ぶ機会があるか見直そう。

学びのものさしを
獲得した姿



学びのものさしを
働かせる姿

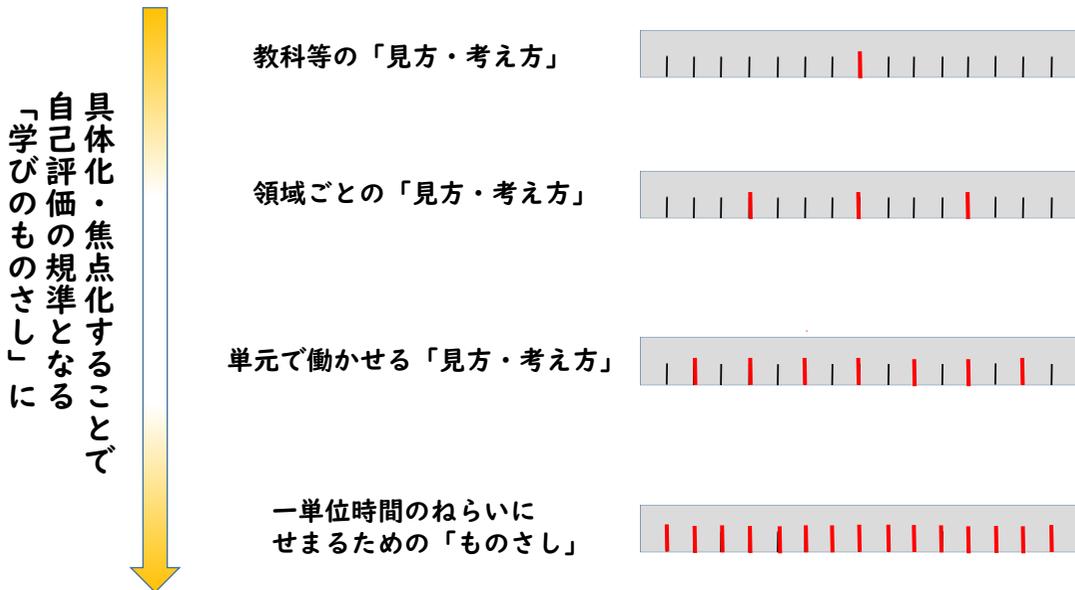
19

研究の目的

- ① 子どもたちが自らの学びの
達成度や到達度を見定める
「学びのものさし」を
つくるための条件を明らかにする

20

子どもが働かせる「学びのもののさし」

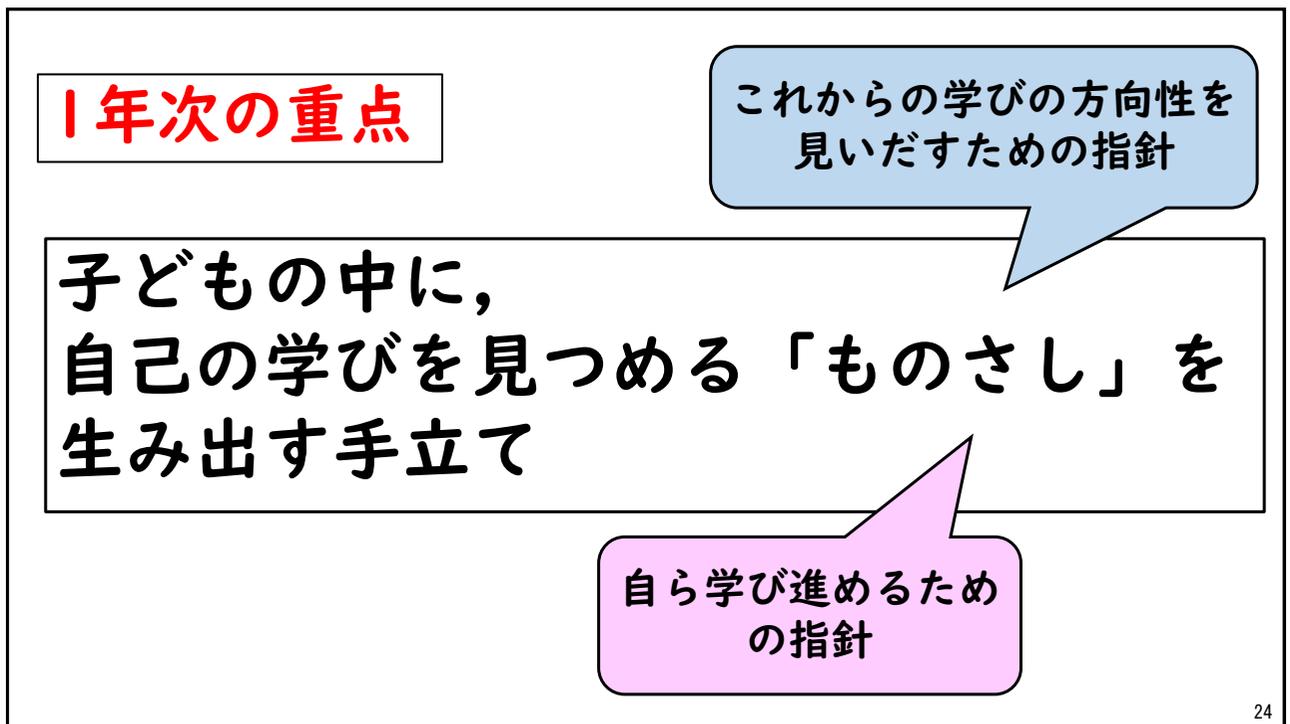
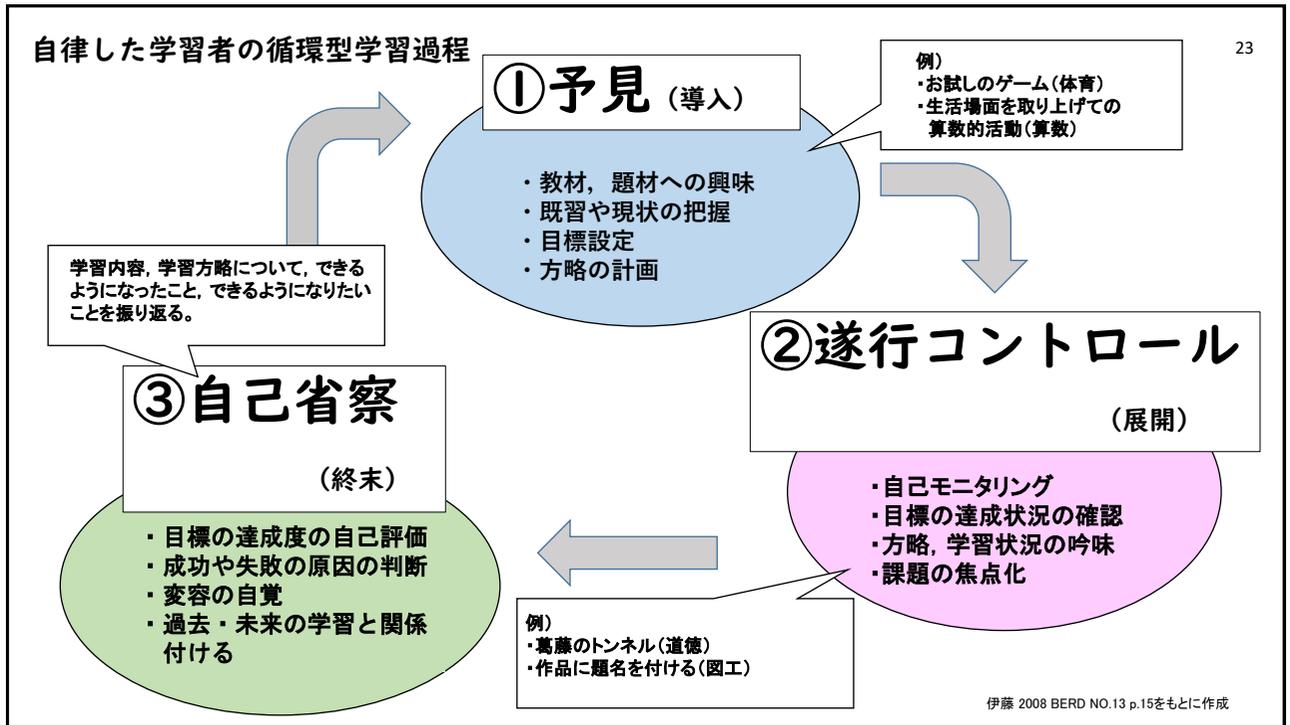


21

研究の目的

② 「学びのもののさし」を
子どもとつくる単元・題材構成の
在り方を示す

22



提案授業	「学びのものさし」を働かせて省察したり、自律的に学習を進めたりするための支援 ※学習指導案より抜粋
2年国語	・明確な視点をもって自分の文章を見直すことができるように、子どもたちが見つけた「 <u>伝わる書き方のこつ</u> 」(学びのものさし)を具体的な表現で整理し、視覚化する。
3年社会	・公共施設の分布や数の特徴を、前時までに扱った住宅地分布が分かる地図、交通の様子が分かる資料を活用して「 <u>複数の資料を比較する</u> 」(学びのものさし)ことから考えられるよう促す。
4年算数	・「 <u>他の数でも同じきまりが成り立つか</u> 」「 <u>数を大きくして確かめよう</u> 」などの視点(学びのものさし)で、選び直しや試し直しをしている子どもを意図的に指名し、全体の中で一般化できるようにする。
4年理科	・ <u>砂利を敷き、水はけのよい地面にし、生活に役立っていること</u> (学びのものさし)を考えることができるよう、砂利と土のどちらを敷けば水はけがよくなるかを考える場を設けた後、砂利と土を使った水のしみ込み方を調べる演示実験を提示する。
2年生活	・気付きを振り返る際に <u>対象の種類</u> の視点(学びのものさし)に着目できるように、花や飲食店など見つけたものの種類での分類とその名付けの支援を行う。 ・気付きを振り返る際に <u>働かせた感覚</u> の視点(学びのものさし)に着目できるように、発表された気付きについて働いている感覚を確認する。

25

提案授業	「学びのものさし」を働かせて省察したり、自律的に学習を進めたりするための支援 ※学習指導案より抜粋
6年音楽	・自分たちが目指す表現に近付いているかを確認することができるように、 <u>強弱や音の重なり、反復と変化など</u> (学びのものさし)に照らして聴き合い、よさや課題を伝え合う活動を設定する。
1年図工	・ <u>折り方や切り方の違いで様々な模様ができること</u> (学びのものさし)に気付き、やってみたい折り方や切り方を考えることができるように、前時で試した折り方や切り方を確かめる場を設ける。
5年家庭	・暑い夏を快適に過ごす着方について、「 <u>吸水性</u> 」「 <u>吸湿性</u> 」「 <u>速乾性</u> 」などの <u>新たな視点</u> (学びのものさし)を基に考えられるように、考えを文章化する前に、何に着目して判断したのかを意見交流する。
5年体育	・ <u>上手に技をつなぐ方法</u> (学びのものさし)を共有できるように、子どもたちの発言を【つなぎ方】【動きのこつ】などに分類して板書する。
5年道徳	・葛藤のトンネルを通った後、王様が【友情】に対してどんな考えをもったのか、王様役に対して全体の中でインタビュー(ホットシーティング)をし合い【友情・信頼】に対する意味を共有し、自分の納得した道徳的価値観を掘り下げていく。 ・ <u>友情を支えるものは</u> (学びのものさし)何か問い掛ける。

26

子どもの中に、自己の学びを見つめる「ものさし」を生み出すことを目指して

「学びのものさし」を働かせて省察するための支援



2年 国語
書き方のコツを見付ける



5年 道徳
自分の納得した道徳的価値観を掘り下げる

27

子どもの中に、自己の学びを見つめる「ものさし」を生み出すことを目指して

「学びのものさし」を働かせて自律的に学習を進めるための支援



1年 図画工作
やってみよう折り方や切り方を考える



3年 社会
複数の資料を比較する

28



2年生活



4年算数



2年国語



5年体育



3年社会

ご意見よろしくお願いたします



5年道徳



5年家庭



6年音楽



1年図工



4年理科